

無から有を生み出す次世代リーダーの育成 「アントレプレナーシップ-新しい事業を始めるための経営学-」オンラインで開講中

武蔵大学（東京都練馬区／学長 山崎哲哉）では、寄付講座「アントレプレナーシップ-新しい事業を始めるための経営学-」が、今年度から単位が取得できる正課授業となり、約120名が履修しています。

近年、ベンチャー企業のみならず、様々な企業がイノベーションを必要としていることから、「アントレプレナーシップ」が注目されています。本講座では、現在活躍中の起業家、ベンチャーキャピタリストが毎週ゲストとして登壇し、武蔵大学の学生、および武蔵高等学校中学校の生徒、また一般・社会人の聴講生らと積極的な意見交換を行っています。

必要なのは、うまく失敗できること、失敗から学べること

本講座の主催者であり、アントレプレナーシップの研究者である高橋徳行副学長（経済学部教授）にお話を伺いました。

一なぜ今、起業家育成が必要なのか？

現実社会の問題や課題を解決する役割が、起業家に求められています。起業家育成は、お金儲けのノウハウを教えるものではなく、今重要視されている、思考力・判断力・主体性・協働性など、現在の教育に必要な要素を修得するのに非常に効果的なのです。発見した問題や課題を、ビジネスの手法によって解決していきますが、これら一連の活動の中で、真の学力が鍛えられ、本学の教育目標である「自立」「対話」「実践」にも通じる内容だと思います。

一高橋先生の考えるアントレプレナーに必要な資質とは？

うまく失敗できること、失敗から多くを学べること、そして、失敗は行動やチャレンジしないとできないと知っていること、の3点です。

一履修生に期待することは？

大いに挑戦し、うまく失敗して欲しいと思います。オンライン授業で毎回、講義後は講演者が質問攻めにあいます。中には高校生もいて、活発な議論を行っています。後期の実践編では、前期で学んだことを基に、起業家のさまざまな側面を貪欲に修得して下さい。



高橋徳行副学長（経済学部教授）

1998年米国バブソン大学（Babson College）経営大学院修士課程修了。国民生活金融公庫総合研究所主席研究員を経て、現在武蔵大学副学長、経済学部教授。

今後について

9月から始まる後期では、「起業家とはどのような人間なのか知ること」「ビジネスプランの作成」を狙いとして、下記をテーマにした授業を予定しています。

- 第1部「起業家を知る」
- 第2部「起業を考える」
- 第3部「起業後を知る」
- 第4部「起業家になる」

また、ゲスト講師として株式会社アルプス技研の創業者である松井利夫氏を始め、各界で活躍中の起業家、ベンチャーキャピタリストが登壇します。さらに「ビジネスプランコンテスト」を実施し、優秀チームには起業準備資金として賞金を最大100万円が授与される等、起業のための多彩な協力体制が用意されています。



後期のゲスト講師陣

一本件に関するお問い合わせ先

武蔵大学 広報室

TEL : 03-5984-3813 FAX : 03-5984-3727 E-mail : pubg-r@sec.musashi.ac.jp

2022 年、武蔵学園は創立 100 周年を迎えます。

■武蔵大学 日本で初めてリベラルアーツ教育を行った旧制高等学校がルーツ

〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩 6 分〕

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立七年制の旧制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年 4 月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。武蔵大学は、経済、人文、社会の 3 学部 8 学科からなる文系総合大学。一年次から 4 年間のゼミナールが必修で「ゼミの武蔵」といわれる。

2012 年には、外国語や異文化を楽しみながら学ぶことのできる国際村 Musashi Communication Village（通称 MCV）を開設、キャンパス内留学の拠点とした。

2020 年 3 月には、ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラムにおいて初のロンドン大学学位取得者を輩出、グローバル教育の更なる発展に力を注いでいる。

2022 年 4 月、学園創立 100 周年を迎えるこの年に、新学部となる国際教養学部（仮称）の設置を構想中。

学長 山崎哲哉 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1